



大阪・関西万博に催事パートナー協賛

ロボット&モビリティステーション会場で公開

シミュレータシステム実演 デジタルツイン技術を活用

未来の月面探索を疑似体験



未来の月と宇宙のバーチャル体験 (イメージ)

◆次世代の宇宙体験が楽しめる仕掛け
ロボット&モビリティステーションは、未来社会ショーケース事業における「スマートモビリティ万博」の一環として設けられた展示会場。スマートモビリティ万博は、カーボンニュートラルが実現された未来社会の姿を描き出すイベントで、旅客船としては国内初の水素と電気のハイブリッドで航行する水素燃料電池船、レベル4(無人運転可能な水準)相当の自動運転および走行中給電といった新技術

を融合させたEVバス、次世代モビリティとして、その一環として開設されたロボット&モビリティステーションにおいて、フォーラムエイトは『未来の月と宇宙のバーチャル体験』を期間限定で展示する。



フォーラムエイトの伊藤裕二社長

この展示では、未来の月面探索をデジタル技術で体験する機会を提供。デジタルツイン技術を活用し、月の環境を再現。最新のシミュレーションや3Dデータを通過して、未来の宇宙開発や月面生活の可能性を体験できる。月面基地の建設、探査車の移動、地球との通信シミュレーションなど、次世代の宇宙体験が楽しめる仕掛けを用意している。

大阪・関西万博(2025年日本国際博覧会)が4月13日に開幕した。『このち輝く未来社会のデザイン』をテーマに、世界中から多彩なパビリオンが集結。来場者は、最先端技術やサステナブルな取り組みを体験しながら、未来の暮らしを体感できる。フォーラムエイト(東京都港区)は、催事パートナーとして協賛し、2つのイベントに参加する。「ロボット&モビリティステーション」会場では、5月1日〜6月1日にバーチャル体験ができるシミュレータシステムを展示。5月20日には「テーマウィーク」での未来の防災・減災に向けたトークセッションを実施する。

未来の防災・減災に向けた トークセッションを開催

テーマウィークにも参加



東北大学 災害科学国際研究所教授、副学長(社会連携・校友会・基金担当) 今村文彦氏



大阪大学 大学院工学研究科 環境エネルギー工学専攻 教授 福田 知弘氏



グリニッジ大学 火災安全工学グループ教授 エドウィン・R ガリア氏 (VTR出演)

◆災害意識と防災について
参加者とともに考察
もう一つの催事パートナーとして参加するテーマウィーク『未来のコミで起こりうる災害ユニティとモビリティ』に対して、日本に「イック」には、対話プログラム「あなたの安全・安心な未来に向けた、災害天国である日本だからこそその世界への提言を、5月20日(火)18時30分〜20時に、テーマウィークスタジオで開催する。

国内外における、自然災害・防災に引き合っている著名人を招き、それ

国内(行政)・民間・個人での災害に対する向き合い方とともに、生活者自身の災害意識と防災について、参加者とともに考える。

避難の重要性を提言した。災害の体験をシミュレーションすることによって、気がつくことはある。ソフトウェアやシステムを通して、そのようなチャンスがあるから体験できて、そういうことが結構あり、それが非常に重要な。一番良いのは訓練に参加することだが、われわれとしてはバーチャルを通して、体験と対話をシミュレーションできる機会を提供していく」と述べている。

その立場で向き合っている課題について紹介する。

環境エネルギー工学専攻 教授の福田知弘氏、フォーラムエイト伊藤社長が登壇。そしてグリニッジ大学火災安全工学グループ教授のエドウィン・R・ガリア氏がVTR出演する。

伊藤氏は「防災、減災、



ロボット&モビリティステーション 外観イメージ



ロボット&モビリティステーション 場内イメージ

これらのイベントへの参加は、万博入場チケットが必要。チケットおよび予約は下記のサイトで受け付けている。
【チケットの購入サイト】
<https://ticket.expo2025.or.jp/>